

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18

労働会館第2ビル

TEL 052-871-5433

発行人 見崎徳弘

第60号 1998年2月5日

ただ働き、使い捨ての
労働法制全面改悪反対!!

労働法制学習集会

・とき 2月17日(火)18:30
・ところ 名古屋市女性会館



杉江明さん(54歳)妻と祖母の3人家族。職場は、合板から住宅機材を作っている東洋プライウッド名古屋工場(海部郡飛島村)全労連・全国一般愛知地本東洋プライウッド労働組合執行委員

会社も国も

労働者ばかりに犠牲をしいる

長引く不況の中、賃上げは押さえこまれ、合理化で労働者のくらしはたいへんです。その上、消費税増税や医療費の値上げなどたてつけの国民負担は、耐えがたいものとなっています。職場のこと、生活のこと、政治のこと組合員さんに思いを語ってもらいました。

職場では
合理化案が
学校を卒業して系列の関連会社から、東洋プライウッドに移って三十年目になります。会社は、受注減や東南アジアからの輸入急増、住宅産業を取り巻く環境の激変という理由で、安い輸入合板に切替えて、もつからない合板部門を廃止する合

理化案を社員に提示してきています。工場には正規職員と全く同じ仕事をしているけど、派遣社員、外注業者、準社員など雇用形態が違つう人たちがいます。まず派遣や外注を削減してその上での希望退職ということですが、会社は慢性的赤字だと、この二年間だけでも労働者の犠牲で乗り切ってきたのに、また希望退職では納得できません。この不況の中、再就職先なんてあるわけない。

税金は国民のため
に使って欲しい
賃金は安い。同業他社と比べて二割は安いんじゃないかな。月の総支給額が三万円。この内残業代が約五万円。社会保険料・税金が引かれた手取りは二十四万円。残業しないと食っていけない賃金です。一月約三〇時間残業です。収入はもつと減る。緩めを合せて仕事・職場がなくなつてきています。この春闘で伝統的産業を守るため、中立や「連合」の仲間と共同で学習し、政策づくりをしよう、愛知地

本で職場訪問をする予定です。おまけに住宅ローンもあるし。母ちゃんもパートに出て生活費を稼がないとやっていけないですね。賃金は安い、毎日残業がある。時間的にも金銭的にも余裕がないから、遊んだり趣味をやったりすることもなかつたです。家には祖母がいますが今のところ元氣なので医療費の負担もあまり気になつていません。だけど八十歳だから、いつまでも元氣でいだろうし。寝たきりになつたらたいへん。たおれた時、安心して預けられる施設や制度が整つていたらいいけど。

消費税引き上げの影響? どうしても必要な物は買つて、やっぱり買い控えします。だからこの春闘は、会社の合理化とのたたかいとともに、くらしを守るために国民的課題でも、がんばつていきたい。



一宮本町通りアーケードで中学生も署名に協力
昨年九月からの医療保険大改悪により、医療現場は大変な状況になっています。患者さんの負担は二〜三倍になり、深刻な受診控えがおこっています。社保協の「医療一〇番」には、「強盗でもしないと病院に通えない」「検査の結果ガンの再発が見つかったも

2・26 総行動

要求持って主体的に参加
愛知県医労連尾張健友会労組 木村冬樹
つながらんだ」と組合員総学習を徹底し、宣伝署名行動、労働組合・老人クラブへのオルグなど地域で具体化する準備をしています。二・二六愛知総行動は九八春闘前段の一大決起の場と位置づけ、一宮地区労連の運動の一翼を担えるよう、早朝宣伝行動と夜間の決起集会への大量参加と一〇名の一日行動部隊を組織しているところ。同時に職場では、外来患者さんや病院周辺での署名行動を計画中です。要求を持って主体的に行動する決意です。

春闘勝利／悪政に怒りを／不況打開！／くらしを守ろう

「98国民春闘勝利／悪政に怒りを／不況打開・くらしを守ろう」を掲げ、愛労連第十八回臨時大会が一月二十四日、愛知県労働会館で開かれました。代議員・傍聴など約二〇〇名が参加し98国民春闘方針を決定しました。

第18回臨時大会開催
一回準備会には、民商が参加し、今度は地域でがんばると決意。多くの団体と共同してすすめていく。(名中センター)、「地域が主人公の取り組みにする為に各組合が地域に要求を持ち込み、共同の実践の場にしよう。地区協も早急に具体化を計りたい」(自治労連名

冒頭阿部精六議長は、「国民犠牲は我慢の限界にきている。五二九兆円の赤字の上に、銀行救済に三〇兆円をも投入しようとしている。一四兆円あれば中小企業の倒産がしのげた。この力関係を

す。個人消費の冷え込みが、景気の回復を遅らせているといわれていますが、本当にそうだと思います。一月月の生活費に五%掛けてみたら、賃上げ分なんて吹っ飛んでしまいますよ。税金の使い方に腹がたつています。阪神大震災の被災者には個人補償をせず、住専には六千五百億円の税金を使った。今度は銀行救済に三十兆円も使う。経営責任は全然問われない。こんなでたらめな政治はやめさせないかん。だからこの春闘は、会社の合理化とのたたかいとともに、くらしを守るために国民的課題でも、がんばつていきたい。



古屋ブロック、「愛知万博や新国際空港で教育予算削減が予想される。自分たちの要求を持って主体的に取り組む」(愛高教)をはじめ、地域労連や単産からも発言が相次ぎました。すべての代議員の発言はかつてない規模で98春闘をみんなやり抜こうという決意にあふれたものでした。

悪政に怒りを!!
不況打開・暮らしを守る

2・26愛知総行動

要求実現

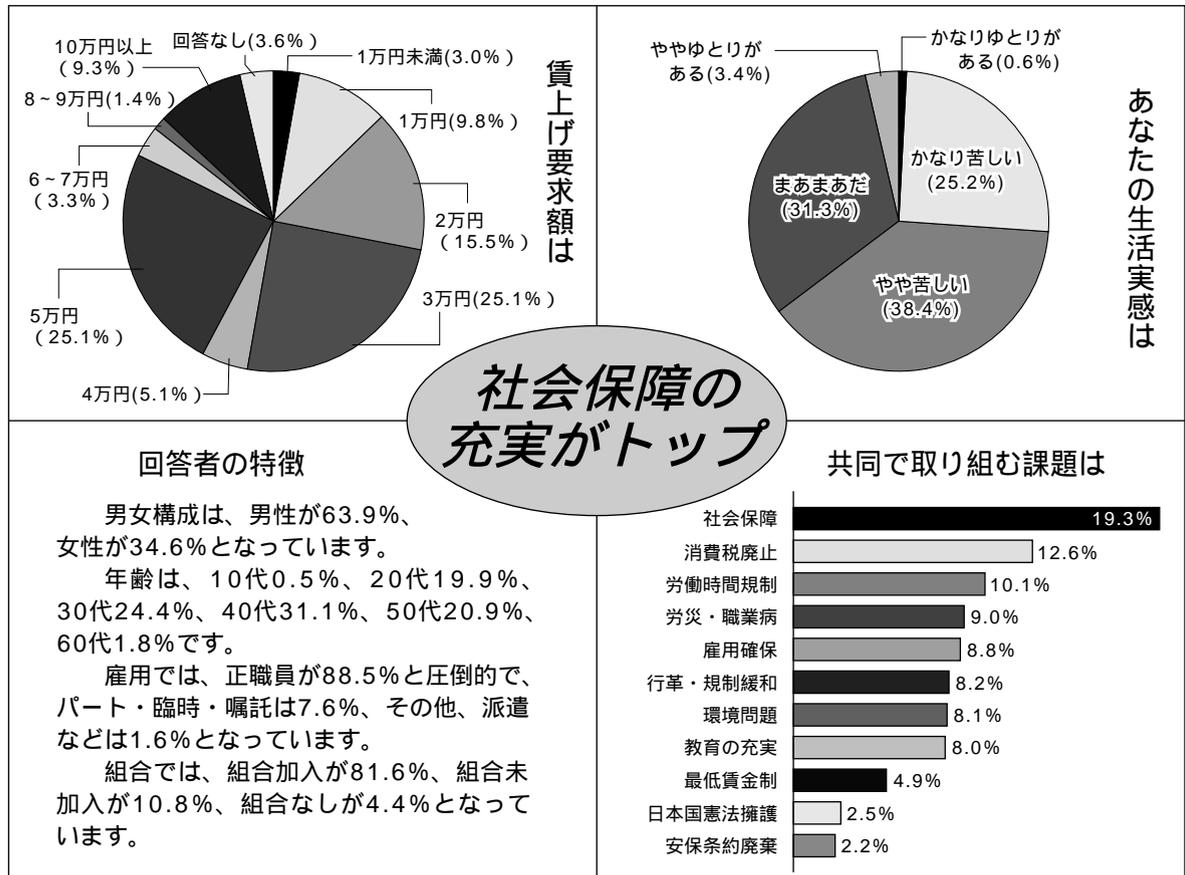
成功させよう

すべての組合員の参加で

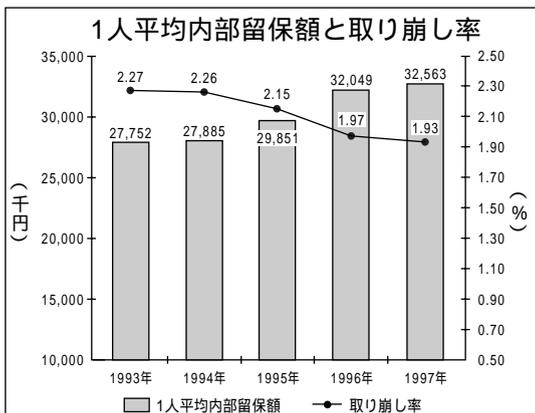
働くみんなの 要求アンケート

21,645人分
1 / 22現在

「暮らし」苦しいが3人に2人 賃上げ要求額は平均39,000円



「絶対話と共同」の取り組みの柱として位置づけられた「働くみんなの要求アンケート」は、一月二十二日現在二万二千六百四十五人が集約されました。生活実感が苦しいが三人に二人、賃上げ要求額は平均三万九千円、社会保障の充実を期待など労働者の生活実感が反映しています。



- ① 主要154社の内部留保額は12兆5,342億円
- ② 1年間で100社が7,562人の削減
- ③ 従業員一人あたりの内部留保額は3,256万円
- ④ 35,000円の賃上げに必要な取り崩し率は1.93%

「あいちビクトリーマップ」は、県内の主要大企業の内部留保額を明かにし、大幅賃上げの正当性と実現の可能性を示す資料として愛労連と愛知労研の共同で発行されました。

九八年あいちVマップから見えるもの

「あいちビクトリーマップ」は、県内の主要大企業の内部留保額を明かにし、大幅賃上げの正当性と実現の可能性を示す資料として愛労連と愛知労研の共同で発行されました。

大幅賃上げで 不況打開を!!

「あいちVマップ」から見えるもの

「あいちビクトリーマップ」は、県内の主要大企業の内部留保額を明かにし、大幅賃上げの正当性と実現の可能性を示す資料として愛労連と愛知労研の共同で発行されました。

街頭で配った「未組織八ガキアンケート」の中から声を拾って見ました。会社や国政に対する怒りがあふれています。

残業・休日出勤はあたり前。毎日残業一時間だが手当はゼロ。有給休暇を使えば給料が減り、休みも一日減る(月五日の休み)。ワンマン会社にただ従い、働くという毎日。もちろん共働き。これからの時代、子どもの出産さえ不安になる。考えれば考えるほど理不尽だが、これが現実なのだ(二〇代男性)

給料が少しか上からないのに、税金や厚生年金の値上がりが早いのは納得できない。(五〇代女性)

きない。(三〇代女性)

山一を始め、金融業界の破綻に対し、預金者保護のためということ、税金が使われている。会社が倒産したとき経営者は私財を全てはき出して後始末をするのが普通でしょう。そこを手つかずにして、私たちの大事な税金を簡単に使ったところの財産はすべて没収。(四〇代女性)

失業者・就職希望者が多い今の世の中。会社側が強い立場で賃金変更などしてくる。(四〇代男性)

組合のない職場はメチャメチャです。なんとか監督してもらいたい。(五〇代女性)

このように大企業は、儲かっているのに人減らし・低賃金と長時間労働で労働者を絞れるだけ絞り、下請単価の切り下げで中小・下請けをいじめ、大企業優遇税制で巨額な減免をつけて内部留保を大幅に増やし続けています。

世界のトヨタの内部留保額は四兆五九一六億円、従業員一人あたり六五二〇万円と莫大な金額で、五年前と比べて一人あたり八五六万円(一五%)も増やしています。一方でこの五年間で従業員を二五二三人も減らしています。

〇億円を新規雇用に向ければ、七万人の雇用創出が可能です。大幅賃上げによる内需拡大で不況脱出をはかる筋道でもあります。



新年号クロスワード・クイズの正解は、「レットウソウゼン」でした。正解者には全員、図書券を送付させていただきました。ご応募ありがとうございました。(少し難しかったようです)

訂正とおわび 新年号4面の詩の作者の名前が間違っていました。出木みつるさんでした。訂正しておわびします。

いのちと健康をまもり、人間らしい暮らしの実現!

みなと3.8 女の権利

みなと4裁判に大きな激励を

3月8日(日)午後1時30分開演
名古屋港湾会館大ホール

- 入場料 大人2500円、高校生1000円 中学生以下無料
- 問い合わせ先 実行委員会事務局 (全港湾労組名古屋支部内) TEL 052 652 1421 FAX 052 661 6122

「病気で解雇はひどい」「おかしいぞ団体定期保険」「公害のないきれいな青空を子どもたちに」、こんな願いを込めて港区では裁判をたたかっています。労働者のたたかいたい演劇にしている「希求座」が、原告の勇気を一時間三十分の演劇として、笑いと涙と感動の舞台をつくってくれました。健康相談や健康チェックも開催。家族そろって楽しめる一日です。

三月八日はぜひ名古屋港にお越しください。そして、健康と人権を考える一日にしましょう。